

海外向製品 受注後生産 特定のお客様

スクリーンインキ

蒸発乾燥型インキ

一般印刷 | 蒸発乾燥型

EMAインキ 8300シリーズ

特にポリカーボネートを材質とした工業用計器板、
銘板類の印刷用に開発した低価格高品質の蒸発乾燥型インキです。
コストパフォーマンスの高いインキです。

製品の特長

- 材質にクラックを発生させにくく、接着性は優秀です。
- 印刷作業性に優れ、はじけやピンホールが発生しにくいインキです。
- 可撓性が良好で、打ち抜きなどの後加工性が良好です。
- 耐油、耐アルコール、耐薬品性が優秀です。

特性

後加工性 印刷作業性 可撓性 材質にノンクラック 接着性 低価格

耐性

耐薬品性 耐溶剤性 耐アルコール性 耐油性

推奨被印刷物

材質

ビニール 硬質ビニール [PVC] 一般プラスチック アクリル [PMMA] アクリル工業用計器板
アクリル自動車計器板 アクリル銘板 アクリロニトリルブタジエンスチレン [ABS] ポリカーボネート [PC]

最終製品

工業用計器板 自動車計器板 銘板

後加工・二次加工

打ち抜き

カラー・グレード

標準色（一般色）

00メジウム 01白 08赤 16ピンク 25紫 28オレンジ 45濃藍 46藍 75グリーン 85群青

標準色（耐候色）

06金赤 13青黄 14黄 18紅

スペック

荷姿

1kgインキ缶

使用方法

- 希釈溶剤にはPC溶剤（標準、遅乾、リターダー）を使用してください。
- 細かい画線部の印刷をする場合はPC特リターダーを使用してください。
- ポリカーボネートの成形品や一部のシート材にはクラックを発生させやすいものがあります。
もしクラックが発生したときは、材料のアニール処理を行ってください。
または、希釈溶剤にSSP標準溶剤（特製）を使用すると改善されることがあります。

刷版

版の種類	洗浄
写真版	ビニール洗用溶剤

硬化方法・硬化条件

蒸発乾燥条件

指触乾燥

- ポリカーボネートに印刷した場合
 - PC標準 20%希釈：常温、約15分
 - PC遅乾 20%希釈：常温、約20分
 - PCリターダー 20%希釈：常温、約25分
 - PC特リターダー 20%希釈：常温、約35分
- 自動車用文字板、工業用計器板に印刷した場合
※残留溶剤によるアウトガストラブルを防止するため、加熱乾燥をお勧めします。
 - PC標準 20%希釈：70°C以上、約15分
 - PC遅乾 20%希釈：70°C以上、約20分
 - PCリターダー 20%希釈：70°C以上、約20分
 - PC特リターダー 20%希釈：70°C以上、約20分

試験データ（環境・物性・耐候性・性能など）

条件

使用基材	ポリカーボネート
乾燥	完全乾燥

結果

試験項目	試験方法	結果
接着性	クロスカットセロテープ剥離	100/100
鉛筆硬度	JIS K5400 8.4 鉛筆引掻き試験 荷重1kg	剥離硬度：5H 傷硬度：F
耐衝撃性	JIS K5400 8.3.2 デュポン式衝撃試験 φ 1/2in、500g、10cm	割れ剥離なし 透けなし
耐屈曲性	JIS K5400 8.1 屈曲試験径6mm 90°	割れ剥離なし 透けなし
耐打抜性	パンチングによる切断	割れ剥離なし
耐熱性	100°C 24時間	異常なし
耐湿性	60°C95%RH 96時間	異常なし
耐摩耗性	綿カナキン3号布 500g 5.5m/S 30回	異常なし
耐油性	自動車用2種 SAE75W 1時間浸漬	異常なし
耐アルコール性	エタノール（試薬1級）ラビング100回	異常なし
耐水性	50°Cの温水中 24時間	異常なし
冷熱サイクル	-30°C・2.5hr → 常温0.5hr → 100°C・2.5hr → 常温0.5hr これを4サイクル	異常なし
耐候性	サンシャインウェザーメーター 300時間	異常なし

耐候性一覧

等級	色名
6	8316ピンク 8318紅 8385群青
6-7	8313青黄 8314黄
7	8300メジウム 8301白 8306金赤 8308赤
7-8	8325紫 8328オレンジ
8	8345濃藍 8346藍 8375グリーン 8392黒

- 調色した色は原色よりも耐候性が低下します。
特にスモーク色や淡色は耐候性が大きく低下します。

注意事項

- PC溶剤以外の希釈溶剤を使用するとポリカーボネートにクラックが発生しやすくなります。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。